

2026年1月11日

## YACかわら版 662

コペルニクス・センチネル2画像における

## 視差効果

Image of the day  
The parallax effect in Copernicus Sentinel-2 imagery

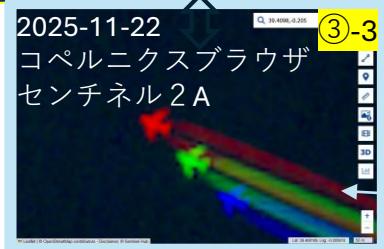
©ESA

PROGRAMME OF THE Copernicus

<https://www.copernicus.eu/en/media/image-day-gallery/parallax-effect-copernicus-sentinel-2-imagery>

EASの1月10日の本日の画像 (Image of the day) は、「視差効果」として「飛行機の視差」を紹介しています。① これまでYACかわら版282・525等で「高速移動と虹」を紹介。センチネル2画像では、飛行機等高速移動する物体や高空にある物体が赤・緑・青に見えることを紹介していました。本日の画像は次のように説明しています。

センチネル-2光学衛星の13のバンドデータは、ほんの数分の一秒差で獲得されます。このわずかな時間的ずれが視差と呼ばれる視覚効果を生み出し、速く動く物体が存在すると目立ちます。 (意訳)



本日の画像は2025年11月22日の地中海でのセンチネル2Aの観測を題材にしています。ちょうどこのデータは、YACかわら版653で地中海の「北風ミストラル」を説明したのと同じデータです。 ②③

③-3データは次のURLをタップすると共有できます  
<https://link.dataspace.copernicus.eu/ewdk>

コペルニクスブラウザでは、各レイヤーの名前の下に使用バンドデータ名が表示されています。



レイヤー「Custom」をタップし、バンド番号をRGBにドラッグします。R→B04、G→B04、B→B04とすると、④図のトゥルーカラー・フォルスカラー・アーバンの「B04」が生成されます。

「B03」「B02」...も同様に生成できます。

「飛行機の視差」を探ってみませんか。

